

MS&AD Insurance Group Quarterly Report

MS&ADインシュアランスグループホールディングス株式会社

広報IR部 〒103-0028 東京都中央区八重洲 1-3-7 TEL: 03-6202-5270(代表) www.ms-ad-hd.com

2011年1月19日

2010年度第3四半期(10月~12月)のトピックスをご案内します。

1. 2010年9月中間期 決算概況について

当社は、11月19日に平成22年9月中間期における決算発表を行いました。政府のエコカー補助金で新車販売が増加するなど自動車保険や自賠責保険の販売が回復し、当社は、正味収入保険料で増収を確保しました。また、経営統合に伴うコスト負担が発生し、中間純利益は減益となりました。

(単位:億円)

	(参考)3社合算値 平成21年9月 中間期	平成22年9月 中間期	比較増減	増減率(%)
正味収入保険料	12,751	13,005	254	2.0
経常利益	1,163	705	457	39.4
中間(当期)純利益	775	400	374	48.3

2. 2010年10~12月の三井住友海上、あいおいニッセイ同和損保の営業概況(単純合算)

*速報ベース、傷害・一般計には長期医療を含む

新車販売減などの影響により、一般計では0.8%の減収となりました。

(金額単位:百万円)

種目名	第3四半期(10~12月)		年度累計(4~12月)	
	収入保険料	増収率(%)	収入保険料	増収率(%)
自動車	297,095	0.6%	887,193	1.8%
自賠責	63,750	6.1%	203,199	0.7%
火災	99,239	8.1%	284,351	4.7%
傷害	48,355	3.1%	151,702	3.8%
新種	70,065	5.7%	228,083	0.7%
海上	22,176	5.5%	75,750	3.1%
一般計	600,680	0.8%	1,830,278	0.6%

3. 主なニュースリリース(2010年10月~12月) カッコ内はニュースリリースの日付

(1) MS&ADホールディングス グループの統合・再編

「あいおいニッセイ同和損害保険株式会社」が発足(10月1日)

10月1日付で、MS&ADインシュアランスグループ傘下のあいおい損保とニッセイ同和損保が合併し、新会社「あいおいニッセイ同和損害保険株式会社」として新たにスタートしました。今後、MS&ADインシュアランスグループの中核損害保険会社の1つとして、グループ企業価値の向上を追求していきます。

三井住友海上きらめき生命とあいおい生命の合併に関する基本事項について（11月19日）

2011年10月1日の三井住友海上きらめき生命とあいおい生命の合併について、合併新会社の基本事項が決定しました。

商号：三井住友海上あいおい生命保険株式会社
英文名称：Mitsui Sumitomo Aioi Life Insurance Company, Limited
存続会社：三井住友海上きらめき生命保険株式会社
本店所在地：東京都中央区日本橋

三井住友海上メットライフ生命の完全子会社化（10月29日）

および商号変更について（12月27日）

当社は、メットライフ社との合併会社である三井住友海上メットライフ生命について、メットライフ社の子会社であるメットライフ・ワールドワイド社との間で株式取得契約を締結し、関係当局の認可等を前提として、三井住友海上メットライフ生命を当社の完全子会社とします。社名（商号）については、2011年4月に「三井住友海上プライマリー生命保険株式会社」へと変更します。

関連事業会社の統合・再編について（10月1日）

当社は、グループ傘下の関連事業会社の統合・再編の一環として、三井住友海上、あいおい損保、ニッセイ同和損保の傘下にあった総務・不動産事業会社5社を合併しました。また、あいおいニッセイ同和損保の発足にともない、それぞれの子会社であった損害調査事業会社2社、直営代理店事業会社2社も合併しました。関連事業会社の統合・再編により、共通機能を持つバックオフィス業務のシェアード（共有）化を加速し、コスト削減などによるグループの収益力向上を目指します。

環境・社会貢献

社員の環境取組みを金額換算 環境NPOへ200万円寄付（11月16日）

当社は、グループ会社の社員を対象とした環境啓発活動「MS & A Dエコ smile」の2009年度実績を金額換算し、10月および11月に総額200万円を10の環境関連NPO団体へ寄付しました。地球にやさしいエコライフと、人にやさしい社会貢献の実践を目的とした「MS & A Dエコ smile」には、1年間で延べ4万3,236名の社員が参加しました。

奄美地方豪雨災害被災者への義援金について（12月15日）

当社は、被災者の方々の支援を目的に、グループ各社の社員から義援金を募り、2,446名の社員から約265万円の義援金が集まりました。また、災害時義援金マッチングギフト制度により、社員からの義援金額に対し、同額を会社が拠出することで、総額約530万円を被災地義援金寄付窓口を通じて寄贈しました。

チャリティーカードで世界の紛争・被災地域の子どもたちを支援（11月12日）

MS & A Dインシュアランス グループの社会貢献団体「MS & A D スマイルハートクラブ」と特定非営利活動法人 子供地球基金は、子どもの絵でチャリティーカードを作成し、その販売収益でセルビアのNGO「ベターウエイ」の活動を支援しています。また、クロアチア、ベトナム、カンボジアにおいて、子供地球基金が運営するキッズ・アース・ホームでの活動を支援しています。毎年、カード収益金の一部で世界の紛争・被災地の子どもたちを対象にアートワークショップ（心の傷を癒す目的で絵を描く活動）を開き、描かれた絵で翌年のカードを作成しています。

（2）グループ各社 商品・サービス

火災保険募集システム「ネットde保険@るーむ」を開発（11月15日）

三井住友海上と大東建託は、賃貸住宅居住者向け火災保険のインターネット募集システム「ネットde保険@るーむ」を共同開発し、10月より募集を開始しました。「ネットde保険@るーむ」は、大東建託の物件データをクラウドコンピューティングで保管させた上で、火災保険契約に必要な情報を自動的に取り込み、すべての保険契約手続きをインターネット上で完結できるようにした業界初の画期的な募集システムです。

「GK クルマの保険」がエコマーク認定を取得（12月24日）

三井住友海上は、12月24日付で「GK クルマの保険」（家庭用・一般用）においてエコマーク認定を取得しました。エコマークは、環境への負荷が少ないなど、環境保全に役立つ商品やサービスを対象としています。保険商品をはじめ金融商品での認定は初めてとなります。広く社会に普及している自動車保険がエコマーク認定を受けることで、社会全体の環境負荷の軽減が期待されます。

収入保障系商品について、

特設サイト「家族を守る保険がたのしくわかる！」を開設（12月2日）

三井住友海上きらめき生命は、保障の考え方や収入保障保険のしくみについて、物語や映像を通じて「ま じーん」をはじめとするキャラクターが解説する「家族を守る保険がたのしくわかる！」サイトをホームページ上に開設しました。

「新契約事務プロセス改革」を開始（12月28日）

三井住友海上きらめき生命は、お客さまサービス向上の取組みとして、申込書作成機能と申込手続後に申込内容を再チェックする機能を備える販売支援システム「きらめきNaviオンライン」と、営業拠点で申込書・添付書類をスキャナ入力、本社にデータ送信することで、申込書到着前に本社で事務処理が可能となるシステム「イメージワークフロー」を基盤とした「新契約事務プロセス改革」を11月から本格的に開始しました。8月からの試行では証券作成日数を1.5日短縮（9月前年同月比）しています。

リスク関連事業

企業の健康活動支援プログラムを開発（11月15日）

三井住友海上は、インターリスク総研、日本医療データセンターと共同で、健康活動支援プログラムEPIP（Employee Performance Investment Program）を開発しました。企業の従業員に対する健康増進策の重要性が増しているにもかかわらず、企業や従業員は、健診結果やレセプトなど健康に関わる情報を活用できていないのが現状です。本プログラムの提供により、健康関連のデータ資源を有効に活用し、組織や個人の疾病の傾向や課題を把握・分析することによって、企業の効率的かつ効果的な健康増進策を支援します。

クラウドコンピューティングを活用したBCP策定コンサルティングを開始（10月14日）

インターリスク総研とインターネットイニシアティブ（略称：I I J）は、大規模災害等に備え、クラウドコンピューティング（以下、クラウド）を活用した「事業継続コンサルティングサービス」の提供を開始しました。本サービスは、インターリスク総研のBCP（事業継続計画）策定コンサルティングとI I Jのクラウド技術を融合させることで、企業のBCP策定に際し、クラウド化によるバックアップサーバーなどのシステムコストの軽減とより実効性のあるBCPの策定が可能となりました。

第4回国内上場企業の新型インフルエンザ対策実態調査を実施

～企業の新型インフルエンザ対策が急増～（11月15日）

インターリスク総研は、国内全上場企業3,587社に対し、新型インフルエンザ対策における実態調査を実施しました。調査によると、新型インフルエンザ対策を実施している企業は79.8%となり、2008年6月に実施した同調査結果（9.8%）と比較し、わずか2年間で8倍以上に急増しました。2009年8月に実施した前回調査（63.1%）と比較しても、15%以上増加しています。また、「現在対策を策定中・策定予定あり」の企業は、91.8%となり、広く企業が対策を進めている実態が判明しました。当社グループでは、今後も新型インフルエンザをはじめとした感染症対策の一層の普及と企業ごとの実態に即した調査研究を展開していきます。

環境・社会貢献活動

生物多様性保全取組みを中心とした地域貢献活動を全国で実施（10月15日）

あいおいニッセイ同和損保では、10～11月を『感謝の月(地域の皆さまおかげさまで!)』として、地域社会への貢献活動を全国各地にて実施しました。今年度は、「生物多様性の保全取組み」を中心に、例年実施している「世界遺産の熊野古道の清掃および浮石の整備」「代々木公園クリーンアップ活動」をはじめ、江ノ島（神奈川）や大洗海岸（茨城）でのビーチクリーン活動など工夫を凝らした取組みを実施しました。

Web約款のご利用件数に応じて環境保護団体への寄付を開始（12月29日）

あいおいニッセイ同和損保は環境保護活動の一環として、Web約款を導入し、紙資源の節約を推進しています。Web約款の選択件数は新会社スタート時の10月より累計で60万件（Web約款選択率：31%）を突破しました。（2010年12月末現在）今般、Web約款の選択件数に応じて、内外で森林保全活動を行っている「more trees」および地域に密着した環境保護活動を行っているNPO団体へ寄付を行います。

その他

「GK」新テレビCMの放映を開始～大怪獣ガメラが「GK」に嫉妬？～（11月10日）

三井住友海上は、11月13日（土）から全国で、個人向け商品の共通ブランド「三井住友海上のGK」の新テレビCM「GK ガメラ篇」を放映しました。引き続き「さまざまナリスクからお客さまを守る」をコンセプトに、今回はイメージキャラクターを務める堀北真希さんと大怪獣ガメラが登場しました。保険商品「GK」の存在により、みんなを危険から守ってほしいという依頼が減っているガメラが、「GK」と堀北さんに嫉妬するというユーモラスな内容でした。

社団法人 日本能率協会主催 能力開発優秀企業賞 本賞を受賞（12月7日）

あいおいニッセイ同和損保は、社団法人日本能率協会が主催する「2010年度（第23回）能力開発優秀企業賞」の本賞を保険会社として初めて受賞しました。産業界の能力開発活動の促進を目的としたこの賞は、能力開発活動を通じて、企業の体質が改善・強化された企業を表彰するものです。保険会社の社員として必要な基礎知識を幅広く習得することを目的とした「全社員マスタープログラム」など、「お客さまに一番身近な保険会社」の実現に向けた人材育成が評価されました。

三井住友海上福祉財団

2010年度「研究助成」および「三井住友海上福祉財団賞」を決定（11月16日）

三井住友海上福祉財団は、2010年度の研究助成として32件を決定し、11月17日に助成金贈呈式を開催しました。また、優れた著作・論文に対し贈呈する「三井住友海上福祉財団賞」として論文2点も同日表彰を行いました。研究助成は「交通安全等部門」「高齢者福祉部門」の2部門で総額3,170万円の助成を決定しました。また、2007年度より開始した海外（シンガポール、タイ）における研究助成では、8件に対して助成を決定しました。「三井住友海上福祉財団賞」の論文2点も含めると、今年度は、合計42件、総額3,650万円の助成となりました。これにより、同財団の助成実績は、累計で総件数1,685件、総金額20億5,469万円となりました。今後も、交通社会の健全な発展、高齢社会の福祉増進に積極的な支援を行っていきます。